

軍極秘

十特根機密第一二號

自昭和十八年十月一日
至昭和十八年十月三十一日

第十特別根據地隊戰時日誌

十月三日送付

第十特別根據地隊司令部印

19.1.2

役務	所作	戰部	隊
所管所屬	第一	南遣	艦隊

0591

一 經 過
 二 人 員 現 狀
 三 令 達 報 告 等
 四 參 考
 五 戰 訓
 六 寫 真
 七 作 戰 經 過 概 要
 八 醫 務 衛 生
 九 會 計 經 理

目

次

(目次終)

0592

自昭和十八年十月一日
至昭和十八年十月三十日
第十特別根據地隊戰時日誌
一 経過

一 敵情

ソロモン、ニューギニア方面敵ノ反攻ハ愈熾烈
ニシテ依然航空機ヲ主用トスル所謂「島ヨリ」
島ハノ戦略ヲ踏襲シアリ
印度洋方面於テハ「アングマン」「ヨコバル」「スマトラ」
北部ニ対スル飛行偵察漸次活潑化シツツアリ
當隊担任区域ニ於テハ敵機並ニ水上艦艇ノ
出現ナキモ敵潜水艦執拗ニ出没シツツアリ
我が軍ノ情況
ソロモン、ニューギニア方面ニアリテハ地域的ニ漸次

(三)

敵ノ及攻ニ侵蝕セラレツモ其ノ都度甚大ナル
損害ヲ與ヘ大逆襲ノ機ヲ窺ヒアリ
印度洋方面ノ防備強化ハ前月ニ引續キ着々
進捗中ナリ

作戰指導

(一) 八日英東亞艦隊來攻ノ算アル依リ警戒ヲ
令セラル 第三防空隊トシ防空對潜警戒
戒ヲ嚴ニシ陸戰隊二個小隊ヲ編成ス
十三日艦隊信令ニ基キエテ一個中隊(二個小
隊)ニ改ム

(四)

十日五〇〇獨船ヲゾルレ四度三七分北一〇六度
四一分東ニ於テ敵浮上潜水艦ヲ認ム
四十四掃司令六七長連丸及二利丸ヲ率ヒ

0594

い

二三三。昭南發敵着攻撃ニ向フ

十二日未明現場着十四日未明敵捕ヲ得ズ

哨区ヲ撤シ昭南ニ向フ

十四日一九三。聚潜一九ノ護衛セル船團中久榮

丸六度。分北一。四度五分東ニ於テ雷撃ヲ

回ヲ受ケ被害ナシ

四十日掃(七長連丸三村丸)及艀索敵シツツ

十六日朝現場着

聚潜特ニ及聚潜特八掃七艇長指揮ノ下ニ

十五日昭南發右敵潜攻撃ヲ向ヒ十六日午後現場着

四十日掃(文ト交代シ昭南ニ返投セリ)

十八日三。敵情ヲ得ズ掃場隊ハ掃蕩ヲ

打切り昭南ニ返投セリ

乙

0595

人員ノ現状
第十特別根據地隊

職員官氏名

職	主	務	官	氏	名	託	事
司令官			少將	山口儀三朗			
附(業務)	交通保護		大佐	細谷義男			
參謀長	首席參謀作戰一般		中佐	齋藤忠康			
主計長	主計長第七分隊長		中佐	安齋茂二郎			
軍醫長	軍醫長第六分隊長		中佐	坪田繁樹			
參謀	機關運輸施設補給		大尉	金子定吉			
副官	副官		大尉	川村喜一			
分隊長	第三分隊長陸警科長		大尉	宇都源石工門			
同	第四五分隊長務執行		大尉	上梅基			

0596

四参考記事ナシ

三	三	九	六	七	三	三	三	三	二	一	九	八	七	六	五	四	三	二	一	日
南	照	中海航	南	照	中海航	南	照	中海航	南	照	中海航	南	照	中海航	南	照	中海航	南	照	利丸
り	ミ	中海航	南	照	中海航	南	照	中海航	南	照	中海航	南	照	中海航	南	照	中海航	南	照	二利丸
中海航	り	ミ	航 海	ラ アン	航 海	り	ミ	中海航	南	照	中海航	南	照	中海航	南	照	中海航	南	照	六長運
河	ン	シア	ユ	=	バ	ク	ン	ハ	航 海	照 南	中海航	南	照	中海航	南	照	中海航	南	照	七長運
照南	中海航	南	照	中海航	南	照	中海航	南	照	中海航	南	照	中海航	南	照	中海航	南	照	中海航	船手二第
照南	中海航	南	照	中海航	南	照	中海航	南	照	中海航	南	照	中海航	南	照	中海航	南	照	中海航	船手八第
香港	航 海	厦門	中海航	海上	航 海	望 星	航 海	吳												船手〇第
香港	航 海	厦門	中海航	海上	航 海	望 星	航 海	吳												船手九第
(又級復 = 隊主隊部方西)																	南	照	檀香	
航 海	徳南	航 海	志 ン	中海航	南	照	中海航	照南	海航	り	航 海	ミ ン	中海航	り	航 海	照南	照南	照南	照南	船手七第
(又級復 = 隊主)																	南	照	島巖	

麾下艦船部隊ノ行動

自昭和十八年十一月一日
至昭和十八年十一月三日
第十特別根據地隊戰時日誌

一 敵情

シロモエニヨリギニア方面ニ主戦力ヲ集中シ飛石戦
法ヲ繼續スルコト依然タリ 甚大ナル損耗ヲ蒙リ
ツツモ執拗ニソノ企図ヲ繼續シシロモエ方面ニ
於テハ遂ニヨリゲンビル島ニ迫レリ
一方印度洋方面ニアリテハ兵力ノ増強ニカメツ
機ヲ得バ進行セントスルノ相貌ヲ呈ス
我担任区域ニアリテハ艦艇飛行機ノ出現ナク
専ラ潜水艦ニ依ル交通破壊ニ任ジアリ
我軍ノ情況

(三)

ゴートギニアレソロモン方面ニ於テハ熾烈ナル敵ノ反撃ヲ
阻止シ之ニ物的人的損害ヲ與フルヲ主眼トシ
地域のニ一部転進セルトコロアルモ積極的攻撃ノ
機ヲ窺ヒツツアリ

印度洋方面ニ対スル邀撃態勢ハ着々整備シテ
作戦指導ヲ

四日。三。青葉山丸三度三八分北一〇。度六分東
ニテ雷撃ヲ七本ヲ受ケ被害ナシ。三三。三度五。
分北九九度四。分東ニ潛望鏡ヲ發見シ護衛
中ノ駆潜ニ十一制圧ス。以上ノ報ニ依リ掃七駆潜
特ニ令ヲ急張シ彼南警備部隊ノ指揮
下ニ入レ敵潛攻撃ニ協力セシム
更ニ十四日ニ於テ南警備部隊ノ指揮下ニ入レ之ニ協力セシム
四日以降ノ敵潛出現状況ヲ通

0599

707
 11月 20日
 伊予 8年

日	時	場	所	發見艦	狀	況
四	〇〇三〇	ヨナクノ島ノ南ニ〇哩	靑葉山丸	雷	被撃ナシ	沈
四	〇三三〇	ヨナクノ島ノ西南西ニ〇哩	龍潛二	潜	被撃ナシ	鏡
五	〇四〇〇	ヨナクノ島ノ七二度二八哩	龍潛二	浮		上
五	九〇〇〇	ヨナクノ島ノ北五哩	雁	探		知
六	二〇二〇	ヨカ「灯台」ノ二五〇度六哩	獨潜	雷	被撃ナシ	知
八	一三〇〇	ヨダ「島」ノ一〇度八哩	七照南	聽		知
八	一五〇〇	ヨカ「灯台」ノ二八五度八哩	龍潛二	潜	被撃ナシ	鏡
八	一七四五	ヨカ「灯台」ノ二六〇度五哩	サクラ	一	被撃ナシ	鏡
九	二三四〇	ヨダ「島」ノ三五七度七哩	七照南	浮		上
九	〇三三五	ヨラ「島」ノ三二度二三哩	伊六三潜	浮		上
九	一五一六	ヨダ「島」ノ七五度三五哩	龍潛二	探		知
一〇	一八三〇	ヨナクノ島ノ二四〇度一六哩	木曾丸	雷	被撃ナシ	沈

名

0600

5-26
108-6

大正6年293

1881-11
ウサ

三	三〇四八	ヨラク島ノ二五一度一八哩	駱潜七	浮	上
三	一七〇	カバンノ八七度九八哩	三〇潜	浮	上
三	三〇七二〇	カカノ灯台ノ南西一三哩	伊三四潜	雷敷子	上
西	〇六〇〇	シヤラク島ノ五六度一〇哩	駱潜二〇	浮	上
	〇七三〇	シヤラク島ノ六〇度一七哩	駱潜二〇	砲敷子	上
	〇九一〇	シヤラク島ノ五〇度二八哩	九三六空	浮	上
	一六二二	ホワイトトックノ三一四度一六哩	長江丸	探	知
	九四〇	ホワイトトックノ三一一度四哩	掃七	探	知
五	〇〇一〇	シヤラク島ノ五五度一六哩	長江丸	探	知

十五日朝來敵潜ノ出現ナキニ依リ十八日現施行中ノ掃蕩ヲ一應打切り彼南西方ノ同タニ島ヨラクノ間及シヤラク島ホワイトトックノ各一艘ヲ配シ索敵ニ任ゼシム
二十三日右ノ配簿ヲ撤ス

0601

自昭和十八年十二月一日
至昭和十八年十二月三十日
一 経過 過

第十特別根據地隊戰時日誌

一 敵情

コエーヤリアンコロモシ方面ニ於ケル敵ノ攻勢愈々熾烈ニシテ太平洋艦隊ノ殆ド全カヲ擧ゲテ遮ニ無ニ我ガ前進基地ノ奪還潰滅ヲ企図シ着々具現シツツアリ

十五日コロモシヲ越テ遂ニコロスマーク諸島ヨリトブリテ上陸シ来ル

印度洋方面ニ於テハコロモシニ対シ主トシテ航空機ニヨル攻撃頻ニ激化セル一方敵潛ノ跳梁又漸ク終キヲ加フ當隊担任区域ニ於ケル敵情変化ナシ

二 我軍ノ情況

0603

(三)

作戰指導

機未ダ熟サズ積極的攻勢ヲ 拒工各方面ニ遠撃
態勢ヲ整ヘツツ及撃手ニ来ル敵ニ痛打ヲ加ヘツツアリ
敵潜水艦ニヨル船舶ノ被害激増シ之ガ対策ニ腐心ス

山 六日陸軍報コト五六ノ列ニ敵大型機十数機見込ニ

依照南海軍区警戒警報ヲ發令ス

三一。誤報ト判明警戒警報ヲ解除ス

(四) 二。五日カ岬ノ二六六度ノ理ニ敵潜見エ下ノ報ニヨリ

掃セテ照南ヨリ四十四掃(利九)ヲ彼南ヨリ急派九

警司司令ノ指揮ヲ受テ敵潜攻撃ニ艦船護衛

協力セシム

十六日未明四十四掃(利九)ハ掃蕩ヲ打切り照南ニ敵投ス

十七日未明敵情ヲ得ズ掃蕩ヲ打切ル

0604

(ハ)

十六日コラガレ水偵五度一六分北二五度。六分東ニ敵着ヲ
認めヨシト在泊中ノ松本丸ノ出港ヲ見合セ待機セシム
十七日二〇〇。天照丸一度。七分北一。七度四三分東ニ敵着

(ニ)

ノ層敷子(三)ヲ受ケ被害ナシ

在昭南修程中ノ第六長連丸ノ艇長ヲシテ第三號築
五。號及第五九號駆潜特務艇ヲ指揮シ敵潜ノ撃

滅ニ仕セシム

(ホ)

二十時敵情ヲ得ズ掃蕩ヲ止ム

三十一日。二五敵ラムレー島ニ上陸ヲ開始ストノ陸軍報ニ

依リ南西方面艦隊長官ヨリD作戰用意第四會
敵駆備。次デDニ作戰發動ヲ命セラル依テ機動

部隊ヲ待機セシム

西方部隊指揮官ヨリコラガレ海峡ノ封鎖警戒ヲ

セ

0605

命せられ雁ヲ一時當隊ニ編入せらる依り雁第一號
掃海艇第七號南丸第六長連丸第五九號駆潜
特務艇ヲシテ之ニ任せしム
後刻ヨムレ止島ニ般上陸ハ誤報ニシテ我防備狀況
進行偵察せしモノト判断せらる

0606

四 参 考 記 事 ナ シ	三一	三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	七
	リ	ミ	中海航	島行也	海航	南昭	中海航	(中入編隊部備警南彼)																				利丸	四十四掃海隊	十六、十五 四) 麾下艦船部隊、行動		
	南	昭	中海航																					三利丸	驅潜特務艦							
	南																					空連	七長連									
	南																					昭	二掃八掃									
	一ギルメ	中海航	昭南	中海航	南																					昭	五掃五掃					
	中海航	南																					昭	七掃								
	南	昭	中海航	南																					昭	七掃						
	昭南	南	昭	中海航	南																					昭	七掃					
	中海航	南	昭	雙中	雙南	飛海中	警南彼	南																					昭		十一隊	
	南																					昭	魚雷									
	南	昭																					昭	津								
南	昭																					昭	符務艦									
南	吳																				昭	雁										
南																					昭	雁										

0607

自昭和十九年一月一日
至昭和十九年一月三十一日
第十特別根據地隊戰時日誌

經 過

敵 情

印度洋方面敵輸送船ノ動靜極メテ活潑化シツ
アリ

四ル区方面ニ対スル空襲依調化セルモ陸ヨリスル「アキマ」
方面ノ敵攻勢方積極化トナル

十日「ロレバ」地区ニ警戒戒嚴言。今日「カリス」島ニ敵機
大型二機來襲。二十三日「メルダ」ニ敵十九機來襲

二十八日「ロレバ」ヨハト地区ニ空襲警戒言報等アリ。従前ハ
「アングラ」ヨヨル方面ニ対スル威力偵察ト並行シテ

新ナル動キヲ示セリ

0608

他方東シロモシ方面ヲ見ルニ作戰ノ主動性略敵ニ
歸シ三十日敵大部隊マシマシ諸島ニ來攻ス

(二) 我が軍ノ情況

諸方共航空基地ノ整備拡充、航空兵力ノ増強
対空防備ノ強化ヲ主眼トシテ專ラ邀撃態勢力ノ確
立ニ努メ未ダ積極的攻勢ニ轉ズルノ機ナシ

(三) 作戰指導

山十二月三十日ノヨケレ島ニ敵上陸ハ誤報ト判断セラレ
タニ依リ一南西方面艦隊D作戰警戒ヲ次テ西
方部隊DノDニ作戰警戒ヲ解カレタルニ依リ機動
部隊ノ警戒ヲ解ク

(四) 四日。五。度。黄。南。丸。一。度。五。五。分。北。一。五。度。三。三。分。東。ニ
於テ敵浮上潜水艦ヲ発見ス

0609

- 第五九號龍潛特務艇ヲ派シ敵潛攻撃ヲ絲ニ黃河
 丸次ヲ永福丸外七隻ノ護衛(昭南迄)ニ任セシム
 別ニ九三六隻ニ連絡飛行索敵セルモ敵情ヲ得ズ
 (ハ) 四日ニヨリ五日。三ノ間北緯六度五五分東經
 一八度六分附近ニ於テ崑山丸紀洋丸八紘丸數
 回敵潛ノ雷撃ヲ受テ崑山丸沈没ノ虞アリト報アリ
 九龍丸ヲ避泊セシム
 (ニ) 五日一六。昌平丸北緯六度四分東經一八度五分ニ
 於テ觸雷ス該地点ハ危險区域トシテ航泊ヲ禁止
 セラレアリシニ拘ラズ當隊ニ連絡スルコトナク未知ノタメ
 遭難セルモノナリ更メテ所要各艦所ニ注意ヲ促セリ
 (ホ) 五日時刻不明日南丸北緯三度五五分東經一八度五分
 ニ炎燒シツツアリトノ報アリ

トバンヨリ昭南向航行中ノ第七號掃海艇ヲ救助ニ
向ハシム

(ハ)

十一月二五五彼南ヨリ岬ノニ七〇度六八理ニテ〇〇敵潜ノ
雷撃ヲ受ケ沈没ス(九三六空機報)

第三號及第八號駆潜特務艇ヲシテ護衛中ノ船
船ヲ夫ニヨナシ及ヲラニ水道ニ避泊セシメシ後彼南
警備部隊指揮官ノ指揮ヲ受ケ対潜攻撃ニ任セシム
津軽ヲ護衛昭南ヨリ彼南ニ航行中ノ雁ヲシテ
護衛終了後彼南警備部隊指揮官ノ指揮ヲ
敵潜攻撃ニ任セシム
十四日第三號及第八號駆潜特務艇ノ敵潜攻撃
ヲ打切り護衛ヲ続行セシム
十五日〇三四五第七號掃海艇ヲ護衛中ノ龍興丸

(イ)

0611

北緯一〇度三八分東經九三度。五分ヲ敵潛ノ雷
撃ヲ受ク沈没ス

第七號掃海艇攻撃終ニ人員救助ニ任ズ

(4) 二十一日一三五甲六ニ潛北緯五度五分東經九九度五分

ニ敵潛望鏡ヲ発見砲撃制圧ス

船団ヲ護衛スルヨリ彼南ニ航行中ノ第八號駆

潜特務艇ヲシテ彼南着後九警司令ノ指揮ヲ受ク

敵潛攻撃ニ任セシム

二十五日〇八〇敵情ヲ得ズ掃蕩ヲ打切ル

(1) 二十七日一三五北緯四度五四分東經九八度二八分ニ於テ

北上敵潛ノ雷撃ヲ受ク微速航行中トノ報アリ

照南在泊中ノ第七號掃海艇ヲ急派シ彼南

警戒備部隊指揮官ノ指揮ヲ受ク敵潛攻撃ニ

任セシム

可直海峡電線敷設作業中ノ港務部末島丸ヲ

南港ニ回航セシメ準備ノ上枚後ニ派出セシム

二十一日北上ト會合照南迄曳航ス

(又) 三十日三四七伊三七潛ホワイトロツクノ三三度ニ三理ニ潛望鏡

次テ雷跡三本ヲ認ム當時掃蕩隊指揮中ノ十一號

潛隊司令ハ各隊ニ集結ヲ令シ攻撃ス

0613

自昭和十九年二月一日
至昭和十九年二月十九日
一 経過

第十特別根據地隊戦時日誌

(一) 敵情

東方面敵攻勢ハ寸刻ノ緩ミナク継続セラレモ一ニヤルノ
攻略ニ次デ矢継早ニトラツク更ニ月末カロリニ空軍襲
ヲ敢行シ来ル

印度洋方面ニ変化ナク偵察ヲ主トシ小規模爆撃
ヲ交フル航空機ノ出現ヲ見ルノミ

潜水艦ノ跳梁ハ漸次繁キヲ加ヘ時トシテハ無謀ト思
ハル程大膽トナレリ

(二) 我軍ノ情況

諸方面共邊撃態勢ヲ持シ未ダ積極的攻勢ナシ

0615

軌ズルノ機 至ラス

當方面ニアリテハ中甸櫻部隊東方面ヨリ軌進シ来リ
整備訓練ニ從事シアリ

當隊担任区域ニアリテ「ヨラツカ」海峡方面ニ於ケル敵
潛ノ出現漸次増大シツアリ

三 作戰指導

一 三日。三五ヨムリ山島海上ヨリ銃砲撃ヲ受ク。〇二二三
ヨムリ山島「ミンビン」ニ敵上陸ストノ陸軍報アリ

〇六四。一南遣艦隊ヨリ口ニ作戰發動ヲ令セラル

一四四。敵上陸ハ誤報ト判明口ニ作戰警戒ヲ次デ

二三五。敵情ヲ得ズ口ニ作戰警戒ヲ解カル

二 十日。四〇。兵力不明ノ敵口ニ基地ノ南ニノ料

（公十ウナシ）ニ上陸セリ。九五。敵約百名ヲ口ニ上陸ス

トノ陸軍報アリ

一五三〇西方部隊日之作戰警戒ヲ令セラル

十日一〇〇右ハ誤報ト判明日之作戰警戒ヲ解カル

以 十日在ヨホルカ航空艇北緯一五七分東經九七度五

分ニ敵潜ヲ発見ス一南遣艦隊ノ命ニ依リカバン

在泊中ノ掃セテ攻撃ヲ協力セシム十四日敵情ヲ

得ズ右任務ヲ解カル

二 十日二三五第十一駆潜隊(駆潜八)北緯五度二六分

東經九九度五六分ニ於テ敵浮上潜水艦発見攻撃ヲス

彼南遣艦隊ハ長江九七昭南、駆潜特八及魚雷

艇四ヲ急派シ右ニ協力セシム掃蕩中長江九八

十百九三〇四カレ岬ノ三三〇度三三、五哩ニ於テ雷跡

二本ヲ認め次テ三三五四カレ岬ノ三二一度三七哩ニ於テ

乙

0617

雷撃ヲ受ケニ三〇沈没ス

二四五駆潜ハ岸上潜水艦ヲ認メ銃撃ヲ爆雷
攻撃ヲ加ヘ又掃蕩隊ノ集結索敵茲ニ人命救助
ニ任ズ

(四)

十三日〇八三〇陸軍機一尋礁西方三八哩ニ潜水艦
艦ヲ発見ス 四十四掃海隊ヲ第ニ利九ヲ急派
攻撃セシム 十七日敵情ヲ得不哨区ヲ撤ス

(三)

十四日一一五七三ニ空機北緯卅一度三分東經九八度
三分ニ潜水艦ヲ発見ス

(二)

十五日一一三五獨逸潜水艦ニ三號四岬ノ八〇度
五五哩ニ於テ沈没ス(九三六空機報)

(一)

十八駆潜隊(駆潜八駆潜七)十六日十七日攻撃ヲシ
翌ラク島ノ三四三度三〇四哩ニ敵艦ヲ撃テ沈ス

(4)

三月廿六日。北緯三十三度四分。東經一百一十四度四分。第六
大塩丸一雷艇等三隻。沈没ス

第九次雷艇隊。以雷艇三隻。不

(4)

三月廿八日。北緯三十三度。分東經一百一十九度。五分。於
第一雷丸一雷艇等三隻。沈没ス

昭南丸。同日。向ケ航行中。第二利丸ヲシテ敵潜

攻撃ヲ受テ。船員救助ニ任セシム

別ニ川重ハ護衛中ノ船固ヲ引ケシニ避泊セシメ

攻撃ヲ救助ニ任ス

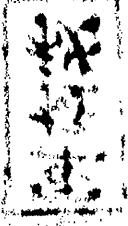
三月廿八日。第三利丸。及川重。夫々三三八名。及六三九

名ヲ救助シ。掃蕩ヲ打切り。昭南ニ向テ

三月廿九日。五三五ヨリ。島ノ一八七度。一。埋ニ於テ。雁隊上

潜水艇ヲ発見。艇切撃ヲ沈セシム。雁毛。裂傷ヲ生ス

(又)



0619

昭南在泊中、刻丸及卷務部、東島丸ヲ派シ
雁ノ救助ニ急用人員移來ニ任セシム

彼南敵官備部隊ハ敵潛攻撃ヲ茲ニ雁ノ應急修
理ノ夕メ飛潛七、七昭南ヲ派出不

九三六空機ハ十二機ヲ派シ参加ス

(14) 于四日三三回北緯五度ニ。分東経九八度四三分ニ於テ

七三三空哨戒機敵潛没潜水艦ヲ発見ス

彼南敵官備部隊ハ飛潛七及七昭南ヲシテ攻撃

ニ任セシム。後刻七昭南ハ司令官根據地隊ノ命依リ雁ノ救助任不

(17) 二十八日一六〇〇人船ガウラ一號北緯三度ニ分東経一〇度

〇分ニ於テ雷撃ヲ受テ沈没ス

彼南敵官備部隊ハ七昭南及飛潛特ニシテ攻撃

茲ニ人命救助ニ任セシム

102
至昭 十九年三月一日
一經 過

敵情

東方面ノ敵ハ戰局ノ主動性ヲ掌握シ凶ニ乘リツシ愈々
攻勢ヲ逞フシ我ガ守備線ヲ圧迫若クハ孤立化セシムツアリ
久シク平靜ナリシヲバロヲ十八日十七機ヲ以テ爆撃ス
二十九日拂曉ヨリ機動部隊ハ同ラオ爆撃ヲ敢行シ来ル
印度洋方面ニ於テハ同ラオニ諸島ニ対スル小數機ヲ以テスル
偵察頻繁トナレル外顯著ナル変化ヲ認めズ敵潛ノ出現漸増ス
我軍ノ狀況
東方面ノ敵攻勢ヲ隨所ニ撃破シツモ未ダ守勢ヨリ
攻勢ニ転ズルノ幾ナク最前線ノ制空制海權ハ敵手ナリ

0622

補給逼迫ニ伴ヒ甚戦ヲ免ク逐次戦進新邀雲配備就ク
印度洋方面ニ対スル防備概成セリト雖モ艦艇機材ノ
不足ニ依リ完璧ノ域ニ達スルハ尚遠シ
當方面ニアリテハ先月ヨリ引続キ部隊整備訓練ニ務メツアリ
作戦指導

三) 駆潜特二ハ七昭南丸ト共ニ二月二十日北三度五分東一〇度。分ニテ雷雲ニ依リ沈没セルA船サクラ一號乗員六名ヲ救助四日ポルトスエツランムニ入港ス

四) 三日一〇五北四度五六分東一〇度二分ニ敵浮上潜水艦ヲ発見商船火災トノ報ヲリ彼南警備部隊ハ七昭南丸ヲ救助ニ派出スルト共ニ駆潜特五九ヲシテ敵潜攻撃ヲ任セシム敵情ヲ得ズ五日彼南ニ歸投ス

ハ) 五日山頂サクラ一號搜索中ノ貨物船二隻敵潜ノ砲撃ヲ受ク

0623

沈没ス 船回六隻ヲ護テシ照南ヨリヨラワニ向ケ航行中ノ
四十四掃(利丸)ヲシテ 六日船回ヲ避泊セシメニ號駝潜特務
艇ヲ併セ指揮シ敵潜攻撃ヲ任セシム

更ニ六日一七。北三度四。分東九九度七分ニ於テ第三正福丸
敵潜ニ復ノ攻撃ヲ受テ海岸ニ欄坐セリトノ陸軍報ヨリ
彼南警備部隊ハ七照南丸及駝潜特五丸ヲシテ敵潜
掃廿湯ニ任セシメ第三正福丸ハ十日離洲ヨリワニ回航ス
敵情ヲ得ズ四十四掃(利丸)ニ號駝潜特務艇及修理
完了シ照南ヨリ急行セシ掃七ハ襲ニ避泊セ船回ヲ護
衛シ八日。一。假泊地ヲヨラワニ向テ途中。三二四一尋
礁ノニ八度ニ照ニ於テ敵潜ノ雷撃ヲ受テ被害ナシ掃七ハ
直ニ攻撃ヲ続ケテ掃湯セシニ敵情ヲ得ズ六八補給
爲ヨラワニ向テ一方船回ハ四十四掃(利丸)ニ號駝潜特

乙

務艇 護名ニ続行中一〇〇。船団中ノ昭武丸敵潜ノ
 雷雲ヲ受ケ一三四五ヨルハ島ノ三五七度ニ運(北三度三分
 東九九度二分)ニ於テ沈没又四十四掃(利丸ニ號記潜特務
 艇及熊野丸ヲ併セ指揮シ敵潜攻撃ニ任ジタルモ敵
 情ヲ得ス敵潜特ニ殘シ至五現場各船団ヲ可ラヨシ
 護名ニシテ後引返ニ掃蕩ニ任ズヨラヨシニ向テ航行中ノ
 掃七八昭武丸雷雲ヲ受ケ一報ヨリ引返ニ掃蕩ニ任ズ
 四十四掃(利丸)ヲシテ掃七記潜特ニ又略同地矣ニ於テ六日
 第三正福丸ノ攻撃セル敵潜掃蕩中ノ七昭南及龍潜特
 五九ヲ併セ指揮シ敵潜攻撃ニ任セシム
 十二日。六〇。北三度四二分東八〇度。八分ニ於テ四十四掃
 (利丸)敵潜上潜水艦ヲ発見。六〇五潜没セルヲ爆雷ヲ
 殺手ス掃蕩隊各艇相踵テ現場ニ集合攻撃ス

0625

昭南在泊中ノ六長連丸ヲ討潜掃蕩ニ急派又彼南
艦並備部隊ハ龍潜特務ヲ急派四十四掃(利丸)指揮ノ
下ニ前述各艇ト共ニ敵潜攻虫ヲ行フ

十三日〇四四七北三度四〇分東一〇度二八分於テ昭南丸
敵浮上潜水艦ヲ発見〇四五五潜没セルヲ爆雷攻撃ス

(八個)掃蕩隊現場ニ集結ス掃六〇七〇〇〇七三〇
〇八三〇敵潜ヲ探知爆雷攻撃ス(三十二個)

十五日一三五〇迄掃蕩隊全カヲ拳ゲテ索敵セシテ敵情ヲ
得ス掃蕩ヲ打切リ三項ノ敵潜掃蕩ニ移行ス攻撃
狀況ニ鑑ミ撃子況確美ト認ム

前項掃蕩中十通四分遣隊機密第一三〇九五番電
ヨリ北四度四十分東一〇度二八分ニ敵潜存在ノ情報アリ
掃蕩隊ハ十五日一三五〇迄が攻虫ニ向フ

十六日(三〇九三六度(後南)哨戒機四ヶ岬ノ一七七度
六六度ニ潜没潜水艦ヲシキモノヲ発見爆雷攻撃(三個)ヲ
ナス効果確定

四五掃七八右地矣附近ノ北四度ニ五分東ノ〇度(四人カニ
於テ水上偵察機ノ探照筒投下ヲ認メ攻撃又補給ノ
為彼南向航行中ノ駆潜特ニテ除キ掃蕩隊(利
丸六長運丸七昭南丸八龍潜特五〇號及五九號掃七)
集結索敵掃蕩セル所ニシテ島ノ二三度六五
度(攻撃矣)ニテ明瞭ナル及聲ノ音アリ油気尤多量ニ
湧出重油ノ臭気激シク濃厚ナル油原五度ニ五ノ等ニ
鑑ミ敵潜ノ撃沈確定

十七日(三〇九三六度(後南)哨戒機四ヶ岬ノ一七七度
六六度ニ潜没潜水艦ヲシキモノヲ発見爆雷攻撃(三個)ヲ
ナス効果確定

(ホ)

一〇〇掃蕩ヲ打切り四十四掃(利丸、六長連丸)ハ十八日
 一〇三〇同シカランスミ沖ニ至リ待機中ノ船回三隻ヲ護介
 コララレニ向フ一四〇〇着七昭南、龍潛特五の号五九号ハ
 即日彼南ニ歸投ス

二十一日一四〇彼南警備部隊ハ七三三空機ヨリ「敵潜水
 潜水艦発見」カカレ岬ノ二〇度ニ。埋針路ハ八〇度速力
 三三ノ報ヲ受ケ一三三龍潛特三号八号及魚雷艇二隻
 ラシテ赤敵攻撃セシメントセシモ後速安島ヲ遭難ニヨリ

龍潛特務艇ヲ現場ニ派ス(二十九日〇六三〇着)
 國海丸ヲ護介ノ用ニヨリ彼南向航行中(二十一日一四〇〇
 着予定)ノ掃七六(三四五)カカレ岬沖ニ急行ス(三三〇着)
 二二敵情ヲ得ズ後速安島ヲ遭難現場ニ向フ(二十九
 日〇三〇)シマラケ島通過(船回ヲ護介昭南ヲ彼南向

々

航行中ノ駆潜特五九号ヨリ一四四〇「安島丸東経」
 度四九分北緯三度四分ニ於テ敵潜水艦ノ攻撃ヲ受ケ
 雲沈飛行機ト共同攻撃セシモ効果不明検討中
 第一朝日丸及大発二隻ヲ以テ救助作業飯田丸及狩丸
 ハコソテ「水道」避航(後略)トノ報ニ九三六(覆南)
 機ヨリ三三五我敵潜水艦ヲ爆雲ス其臭一六〇度ニ至リ
 効果不明トノ報アリ
 彼南警備部隊ハ一六〇陸軍ニ協力シ「島附近」ニテ
 既定作業ニ從事中ノ七昭南丸及在彼南駆潜特
 二五八号ヲ現場ニ急行セシム(七昭南丸ニ三〇〇着)
 二十八日二二〇五「リカ」泊地迷航中ノ七長運丸ヲ急放ス
 (三十日二一〇〇着)
 二十九日〇八一五七昭南丸ハ既定作業協力打切協議中ニ

0629

人員ノ現状

一 第十特別根據地隊

職官氏名

補給ノ為同ソルル島ヲ經テ彼南ニ向テ
 飛潜特五九八第一号朝日丸及大丸ヨリヲ護テ之ニ補給ノ為
 撤哨一九三〇同ソルル島飛彼南ニ向テ
 三四五飛潜特八八白岩ノ一四八度一五三理ニ敵潜ヲ発見
 攻襲ス掃蕩隊(掃七飛潜特三特八特五)集結攻襲ス
 三十日。九〇。掃七白岩灯台ノ一六八度一七理ニ少量ノ浮
 油ヲ認メ探知及響音アリ
 彼南ニ信電令作第八四號ニ依リ三十日九〇。七照南丸
 及飛潜特五九出襲ス(五月一日。六四五着)

八

職	司令官	參謀長	副參謀長	參謀	同	副官	司令官	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
主務	交通保護	首席參謀作戰一般	主計長第七分隊長	軍醫長第六分隊長	機關運輸施設補給	同	第一分隊長陸軍科長	水警科長	第四分隊長	第七分隊長	同	同	同	同	同	同	同	同
官	少將	大佐	中佐	主少佐	大尉	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
氏名	今村 脩	細谷 義男	齋藤 彌吉	堤 盛雄	金子 定吉	岡本 登志夫	川村 喜一	山口 涉	上 梶 基	高野 軍次	田川 重夫	同	同	同	同	同	同	同
記事					三根附被付	三根附被付												

0631

十九、三

四 麾下艦隊行動

日	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一
利丸	昭南	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中
二利丸	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中
六長運	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中
七長運	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中
二號	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中
八號	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中
五〇號	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中
五九號	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中
雲五七〇	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中
掃海艇	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中
第七號	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中

四 参 考 記 事 ナシ

0632

自昭和十九年四月一日
至昭和十九年四月三十日
一 経過

第十特別根據地隊戰時日誌

一 敵情

主作戰ヲ南西太平洋方面ニ指向スル事依然タリ物量ノ
優勢特ニ航空機ノ圧倒的優勢ヲ以テ相殺消耗戰ヲ
圖リ我が南進基地無力化ヲ策シタル後逐次攻取據矣
又推進シ来ル

平二日ヨリガニアレ北岸ホララザアレニ上陸シ三十日トラツケラ
再空襲ス

印度洋方面ニテハ敵機行動ハ從來殆ド偵察ノミニ
限ラレズガ十九日〇九三ヨリ一〇五五ニ互リ戦爆連合
編隊(三十一四十機)ヲ以テガニアララザラ空襲ス

9

佛印方面ハスナク平静ニ狎シシ處ニ十二月一九四〇ヨソソ
テッドトBニ四型五機突如ヲシマツクニ未龍衣船団ヲ低空
爆撃ニ相当大ナル被害アリ

當隊担任區域ニアリテハ敵潜ノ跳梁愈々繁クソノ行動目
余ルモアリ文閣駢謀者ノ潛入暗躍ノ兆ヲ認ム

我が軍ノ情況

全般的ニ防禦態勢アリヨソーヤラレ方面ニアリテハ逐次前進
基地ノ後退ヲ見ルヨバウルコブローゲンビル島等ハ攻取據
莫トシテノ機能ヲ喪失セントシアリ

印度洋方面ニ対スル邀撃所備着々進捗ニツツアルモ
交通破壊戦ノ活潑化ニ伴ヒ戰備增強ニ難ヲ加ヘントス
當方面ノ敵潜ニ関聯セ重ナル事項左ノ如シ(作戰指
導ヲ詳述)

0634

(三)

(イ) 作戦指導

コラツカ海峡一尋礁以北F B 区域、敵潜ヲ積極的ニ

(ロ) 機帆船第三吉田丸コラツカ海峡ニ遭難

(ハ) 十八日廣河丸彼南附近ニ遭難

(ホ) 十五日掃七沈没ス
敵潜ヲ虫沈

(ニ) ヲリ十六日迄 M 一作戦ヲ行フ

(ハ) コラツカ海峡ノ敵潜ヲ積極的ニ掃蕩虫滅スルタメ八日

(イ) 二日コラカニ丸南支那海ニ遭難

(ロ) 四日掃七水偵協力コラツカ海峡ニ敵潜ヲ虫沈

0635

掃蕩要域ヲ期シ四月八日。八〇。以後M一作戰ヲ突
施十六日八〇。終結セリ

全般指揮ヲ特根司令官

兵力

第十龍潜隊、第四十四掃海隊（六長連丸欠）、

第七號掃海艇、第七昭南丸、龍潜特務艇三八

四五五、五五五九七。號、九三六空丸機

(四) 哨戒・通商保護關係

(1) 一日〇。四八自岩灯台附近ニテ掃七敵浮上潜水艦發

見掃七、七長連丸龍潜特二八五。及五九攻虜スルモ

効果不明

(2) 一日一六四五掃七敵潛探知爆雷攻虜ス

(3) 二日〇。四四五一度五八分北。六度五分東ニテ松輪敵潛ト

交戦利九急行ス

0636

- (4) 昭南軍港ニ曳航セシム
- (4) 三日ニ三〇〇。龍潛特八敵潜ヲ追尾爆雷攻虫ス(掃七参加)
- (5) 五日ニ三一掃七回シ島ノ六八度一〇〇米ヲ水偵ト協力
爆雷攻虫沈確矣
- (6) 十日一〇三〇。大島丸列イヤモドト自沖ヲ被雷虫被害ナシ
七長連丸攻虫ニ任ズ
- (7) 十日。忠兵隊ヨリ敵潜十四十五十六日回シ諸島ヨリ
島白岩間ヲ謀者ト連絡ストノ情報アリ対処スベク
ヨアラクシ島警言戒艦艇ニ見張員ヲ配シ警戒ニ任ジ
タルモ異狀ヲ認メス十六日警言戒ヲ解ク
- (8) 十二月一七三〇。カカト岬沖ヲ九三六空機敵潜ヲ爆虫ス
- (9) 十二月二〇三〇。引込島南方ヲ九三六空機敵潜ヲ見

3

0537

(10) 龍潜八九ノ京丸、利丸、龍潜特四五、五五之ヲ掃蕩ス
十三日二三四五敷設四ノトシ南方十三里ニ敵潜聴音

龍潜特五九掃蕩ス

(11) 十四日〇七ノ龍潜特五九浮上潜水艦発見(三度六分

北九三度四分東)砲、爆雷攻撃ス

十四日一三〇ノトシ入港セントスル松川丸第一(興南丸)雷

裏ヲ受テ被雷ナシ敷設四龍潜特五九掃七龍潜七ト共攻撃ス

(12) 十四日〇九ニ五龍潜特四五ノカト岬沖ニ潜水艦下シキモノ

探知各艇集結セシテ敵情ナシ

(13) 十五日一〇〇九三六空機別岬ノ八四度五八里油沓発見

利丸七昭南丸、二利丸龍潜八ト共爆裏及爆雷攻撃裏沈

確実ナリ

(14) 十五日一〇〇二度三四分北九三度〇六分東ニ掃七被雷裏

(15)

三二五況没。龍潜時五九。敷設回攻裏ニ格ス
十八日八五ニ黄河九北五度二分東へ。度四分ニ敵
潜穴見。利九攻裏ス。黄河九避。建中島ノ七五度
六ニ埋ニテ被層復南ニ回航セシメ龍潜時五五七〇ニ
八五〇。龍潜七八七昭南九。利九スラ攻裏ス

(16)

十九日三〇三〇。カヲ十ニ島附近ニテ陸軍船在華九敵潜ト
交戦況没爾後敵情ナシ

(17)

二十日。北五度四分東九九度二分ニテ號北安九敵潜
砲裏ニ依リ没没龍潜時五〇五五掃蕩セシモ敵情ナシ

(18)

二十日〇八〇。七長邊九船固護ヲ昭南九カシツクニ向リ
途次敵潜北三度五分東へ。四度三分ニテリトノ情報ニテ

(19)

掃蕩セシモ敵情ナシ
二十七日〇二五ヲブアニ不偵基地ノ二六〇度五五埋敵潜没

4

0633

潜水発見ヨリヨリ六長連丸掃蕩ニ任ズルモ敵情ナシ

(29) 并七月二〇六北五度。六分東一〇二度。四分三伊三七潜

觸雷(音響若久磁氣)

(21) 二十九日〇五四五龍潜特八〇三島ノ四五度四哩ニテ敵潜

浮上セルヲ発見見失フ

(22) 十九日一五五龍潜特二砲声ヲ聞キ煤煙ヲ見(河三島ノ三七度約

十哩餘ヲ機帆船第三日蒸丸敵潜ヨリ被砲重火災ヲ生ス)

(23) 十九日一四五。河ヶ止ニテ雷跡発見龍潜特五〇七〇急行

閩南丸ヲ護テス

(ハ) 補給訓練整備関係

M一作戰閩南對潜掃蕩艦艇ニ對スル補給ハ

陸軍側ト協定ヲ以テシテ茲ニ河ヲケレヨリ

可能ナラシムル如クセリ

四 参 考 記 事 ナ シ

日	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	廿一	廿二	廿三	廿四	廿五	廿六	廿七	廿八	廿九	三十
利九	昭南	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中
ニ利九	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中
ニ号	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中
八号	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中
五号	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中
五号	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中
四号	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中
五号	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中
七号	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中
第七号	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中

四 麾 下 艦 船 部 隊

龍 潛 特 務 艦

0641

自昭和十九年五月一日
至昭和十九年五月五日
一 終 過

第十特別根據地隊戰時日誌

(一) 敵 情

一般的狀態 前月ニ至ラズ

至五兩日敵艦上機亦島ヲ空襲ス

二十七日敵艦隊(戰艦三隻、他米洋艦、驅逐艦)爆

撃機、B二四型二機ヲ、又他ノ艦艇四隻ヲ

攻撃ス

當隊担任區域於テ敵潛ノ跳梁依然タリ

(二) 我軍ノ情況

西南太平洋方面邀撃配備ヲ完成シ從前ノ守勢

防禦ヲ攻勢防禦態勢ニ移行セシメテアリ

當隊担任区域ノ敵潛艇係事項重ナルモ左ノ如シ

(イ) 十二日震丸二十日七昭丸(二十日江祥丸)二十日自熊野丸

以上何レモ引込海峡ニテ沈没(遭難)

(ロ) 二十日興神丸第三興西丸引込諸島沖ニテ沈没

(ハ) 二十四日壹岐北緯一度七分東經七度五分ニテ沈没

艦艇特ニ當隊トテ人護衛艦艇ノ不足痛切ヲ加フ

(三) 作戰指導

(イ) 警戒通商保護關係

(ロ) 六日八〇。詔潜特八敷設(北五度。六分東九九度五四分ニテ

潜望鏡発見爆雷攻撃入。爾後詔潜特五〇七〇及彼南東

層艇亦五六隻機参。十日〇八八道掃蕩モモ敵情ナシ

(ハ) 十二日〇二五震丸同島引込度ニテ被雷重ク

沈没。護不中。詔潜七探知攻撃詔潜特五〇七〇敷設

(8)

又九三六空機參加十五日五〇。遙掃場。是敵情ナシ

十七日七三〇獨潛口。五三六北三度二分東八〇分。夜〇分。於テ

被雷電被害ナシ。記潜七。記潜特五〇七。九三六空機掃

蕩ニ參加。記潜二。二回ニ亘リ探知爆雷攻撃。是効果不明

十八日五五五九三六空機敵浮上潜水艦発見。爆雷雨後

記潜攻撃。是効果不明。二十日。九〇五撤哨ス。

(4)

十八日。九三五。五。イ。イ。イ。偵北四度四分東八四度二分。於テ

敵浮上潜水艦発見。雨後七長連丸掃蕩セルニ

敵情ナシ。九三〇撤哨

(5)

二十日五五五。照南北北三度。三九五分東八〇度四分五分

於テ九三六空機ノ攻撃ヲ認メ記潜特五〇ト共攻撃効果

不明。雨後到正三向ヲ途次三三。頃北四度。三分東八〇度

至分(時)位置推定) 被雷電沈没

心

(6) 二十日(三三)北四度五十分東(七七)分三ノ江祥丸被雷

東(〇)度八分三ノ觸底(水深十米)曳船(上)出(前後)龍潜

特(五)五五七。散設四龍潜(及)九六六(空機)攻撃掃蕩(存)

龍潜特四五、五九(引)三(水)道北口ヲ掃蕩(何)レモ敵情効果

不明(二十)六日(三三)撤哨

(17) 二十日(八二五)白岩(三三)度(七)分(三)ノ熊野丸被雷(雷)

沈没、龍潜七攻撃(爾)後龍潜特七〇、九三六(空機)参加(二)

回探知(攻撃)甚(モ)効果不明、龍潜特四五、五九(及)敷

設(四)掃蕩(三)参加(セル)モ敵情(ナシ)

二十日(〇)ニ龍潜七(基)点(一)ノ島(二)四度(五)分(一)

度(八)分(三)ノ潜望鏡(察)見(探)雷(攻撃)入(爾)後龍潜特(三)

掃(古)湯(二)参加(セル)モ敵情(ナシ)

自昭和十九年六月一日
至昭和十九年六月三十日
一 経 過

敵 情

前月來全般のニ異状ナク状況ナリシモ六月北佛ニ及枢軸
軍ノ上陸作戦開始セルニ至リ各方面共及枢軸軍ノ總反
攻ノ先配アリ警戒中ノ處十四日カリアナ群島方面ニ敵機動
部隊ノ出現ヲ見十五日ニカリアナ島ニ上陸ヲ開始セリ
當方面モ依然同ノ海峡北部及馬來東方海面ニ潜水艦ノ
跳梁スルアリ又ガ掃蕩ト共ニ印度洋ヨリスル及攻ニ留意中ノ
處至日カリアナトフレニ敵機動部隊ヨリノ飛行機ノ出現ヲ
見タルモ爾後異状ナシ
但ニ當方面關係トテ印度洋ヨリスル敵ノ蠢動先配依然濃厚ナリ

(三) 我軍ノ情況

敵今固ノ反攻ニ對處ニ之ヲ邊雲雲破ノ態勦力ヲ一段ト強化シ如何ナル事態ニ即應ノ態勦力ヲ整ヘルベク二十日ヨリ新ニ

第十五根據地隊彼南ニ閣隊セラレ從來當隊担任區域中

一尋礁ヲ通過スル四十五度線以北ヲ担当ス

當隊担任區域中敵者關係事項主トシテ左ノ如シ

(一) 三日 戒克ニ隻被砲撃沈没 於コトシテ海峡北部

(二) 十二日 閩南丸被雷雲沈没 於コトシテ海峡中

(三) 七日 永興丸被雷雲沈没 於コトシテ海峡北部

(四) 二十日 治南丸被雷雲沈没 於コトシテ海峡北部

(五) 二十日 日邦丸被雷雲沈没

能登島被雷雲中破 於照南海峽東方

三 作戰指導

1. 靖我通商保護関係

1. 1日。三島ヲ探知セル敵潜掃蕩ニ親潜特

四五参加セル敵情ナシ

2. 1日。六三四 親潜七回山向航行中同山島西三哩ヲ於テ敵浮上

潜水艇ヲ発見砲撃雷攻要ス 親潜特五五協力セル

効果不明

3. 3月19日。北大度三分東。度五分ニ我克復敵潜ヲ

被砲撃沈没 親潜七、親潜特四五、五九四日

ニ。彼南出雲掃蕩中(敵情ナシ)

五月一九日。四島上島カ敵潜補給基地ノ以テ攻撃スル親潜

特四五五九ヲ親潜特五〇七ヲ調査セシメ親潜

七、敷設四ヲ三島ヲ以テ群島ヲ以テ附近ノ

索敵ヲ行ヒタルモ敵情ナシニ六日撤哨ス

七日 二三五二 A機帆船第三号北四度五四分東の度十五分

附近ニ浮上潜水艦ノ砲臺ヲ發シタルモ被害不明

八 七日 二三五二 北四度三分東の度四分潜望鏡ヲ認め

九 七日 二三五二 海上保護部事業ヲ開始ス

十 七日 二三五二 関南丸被雷撃ニ本沈没

十一 七日 二三五二 龍岩特五五五九が索敵攻撃向

十二 七日 二三五二 龍岩特五七七の被雷ヨリ出雲セリ敵情ナシ

十三 七日 二三五二 龍岩特五七〇の被雷ヨリ出雲セリ敵情ナシ

十四 七日 二三五二 龍岩特五七〇の被雷ヨリ出雲セリ敵情ナシ

十五 七日 二三五二 龍岩特五七〇の被雷ヨリ出雲セリ敵情ナシ

十六 七日 二三五二 龍岩特五七〇の被雷ヨリ出雲セリ敵情ナシ

十七 七日 二三五二 龍岩特五七〇の被雷ヨリ出雲セリ敵情ナシ

0650

到着ノ配潜特方五九ニ世々多ク、磁気機雷ノ
疑アリ、爾後同艇應急處置ノ上ニ于ヨリ東京九
ニ要航ハレ、昭南ニ有

9. 十日。八五六 陸軍機帆船同第百九護不守北慶分東九四度五
分敵潜ト交戦一隻沈没

10. 十日。二三四。 陸軍夕方一日翼九北三度四十分東九度七分三
分敵潜沈没ノ虞アリ

11. 十日。二三四 彼南ヨリ南西ノ向水興九北三度五九分東九分
十分三秒被雷沈没、八号及六号等配潜艇務艇及
八九号等配潜艇攻撃掃蕩ニ任ジ、爾後四号敵艇ニ
参加、至五号迄掃蕩ニ任テ敵情ヲ撤消ス

12. 至百一五三五 此作戰日作戰警戒令ナル

13. 至百一八三五 右警戒解除トシ

0651

14. 予春三四五、ハカラス区発、昭南向航行中、A艇同中ノ追

南丸河之島ノ度、一被雷重沈没

護中ノ二号艇若特務艇八道ニ射交、附近ノ改重

爾後八号及二号艇若艇及右符丸被撃、終了後

四五及五九艇若特務艇七掃蕩ニ参、如ルニ敵情

二十七日二四〇撤哨ス

15. 予九〇二五、ヨリ昭南向船同北。度四八分東一〇五度三七分

於テ敵潜ノ魚雷攻撃ヲ受ケ、日都丸沈没

能登差損傷大受、航中三日昭南着第六長

運丸二号艇若艇六号海防艦、路ノ現場ヲ掃蕩

(四) 補給訓練整備関係

八 利丸六長運丸七長運丸四日五六日間出雲前諸訓練

七 七長運丸七日三吉在岩南水羽兵器整備

自昭和十九年七月一日
至昭和十九年七月三十一日

第十特別根據地隊戰時日誌

一 概 過

一 敵 情

前月引統々司より諸島方面より攻勢の呼應印度洋方面より
直接宿務担任区域方面へ急動シタリ上旬敵部隊可成り
島嶼領以後益々前記情勢ノ勢ヲ得下旬遂ニ大宮島司マシ
島ニ上陸後當方面ニシテ可成り敵機動部隊出現セルニシテ人絶
西丑向ノ偵察飛行及マラカ海ニ於テ潜水艦ニ依リ交通破壊其
他各種謀略宣傳ト共今後ノ敵行動ニ直接當方面ニ影響化スル

一 我軍情況

司マシ諸島方面敵作戦ノ一部成功ニ依リ當方面ノ重要性ノ
増加ニ伴フ敵ノ企圖ヲ未然ニ破ルル各地ノ防備遺棄態勢カラ

120.

0654

強記就中防兵及各百備之新ノ充實戦力増加ヲ増強スルト共ニ
敵潜水艦ノ襲滅ヲ期スルヲ

當隊担任区域中敵潜関係事變無キトシテ左ノ如シ

十七日申二六時被雷雲沈没 於一尋然南側

(三) 作戰指導

(一) 哨戒通商保護關係

六日二三時 龍潛特八八白岩ノ穴ニ度百潜言敵潜上潜水艦ヲ発見

龍潛特下突ニ追雷ヲマシ島一五五度百潜ニ潛没探信中

六長連先及龍潛特五七日元 參加八日三〇以後同ナリ此

島ノ下島(六長連先及龍潛特五五)ヨリ島ノ上島間

(龍潛特二八) 潜没時 格動増成ヲナス

八日一五時 同ノ下島西方(龍潜特二八)ニ於テ陸軍砲艇

及潜水艦発見 攻撃中ナルニ依リ六長連先及龍潛

0655

時五五ヲシテ掃蕩ニ向ハシテ十日朝迄ニ敵情ナシ撤哨ス
コノ間龍潛特五五九ヲ以テ山島以北トシテ島間ヲスマトラレ
沿岸ヲ掃蕩セシモ敵情ナシ

八 二日一〇〇〇

守ハ天六潜水艦彼南ヨリ北南向航行中一尋礁ノ一四度
七度ニテ被雷重沈没ハ九三。龍潛特五五六長連丸掃蕩
開始。七日午前龍潛特二九八掃蕩ニ参加ス一日龍潛特
四五五長連丸敵情ナシ九日午前撤哨ス

六 二日〇一三〇

一尋礁ノ一八度五五理ヲ第六長連丸浮上潜水艦発見前
後龍潛特五五四又五五九又ニ参加シ三日夕刻ヨリ第六
利丸五五七長連丸。龍潛特五〇及七〇等又ニ参加セル敵
情ヲ得ズ二五日午後撤哨ス九日午後龍潛特五〇五九等
附近ヲ掃蕩ス

五 二番五三五

〇作戦口一作戦口ニ成テ令(司令)ニ敵機動部隊出現ス

八

0656

6. 三日、五日 工作終了、作戦終成解除

又、三日、四日 第六義勇先船団護衛中、四日午後五時、岬岬灯台ノニ七五度

五度ニ敵浮上潜水艦ヲ発見、追索中、夜陰ニ乘ジ
適天ノ為船同護衛ヲ遂行シ、号船潜艇現場ニ急行ス。

(四) 補給訓練 整備関係

1. 利丸 六日至一九日間、日泊地警戒

2. 利丸 一日至七日間、日泊地警戒

3. 奈美丸 一日至五日間、在昭南補給整備

4. 紀清丸 二日至八日間、在昭南補給整備

5. 紀清丸 一日至六日間、在昭南入渠修理

6. 紀清丸 二日至八日間、在昭南補給整備

7. 紀清丸 一日至六日間、在昭南入渠修理

0657

四	三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	日	
参	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	利丸	
考	南	昭	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	昭	二利丸
証	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	長運丸	
事	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	長運丸	
ナ	南	昭	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	昭	四五號
シ	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	昭	五〇號
	南	昭	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	昭	五五號
	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	昭	五九號
	昭	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	昭	六〇號	
	南	昭	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	昭	六五號
	頁	西	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	昭	七〇號
	頁	西	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	海	航	中	昭	七五號

ル入 = 下 揮 指 / 隊 地 據 根 マ ル 一 號 次 日 一 十

四) 麾下艦艇部隊

第四十四掃海隊

龍

潛

特

務

艇

第百號

0658

自昭和十九年八月一日起
至昭和十九年八月三十一日止

第十特別根據地隊戰時日誌

一、敵情

(一) 敵情

印度洋方面に於て敵艦の攻勢企圖は改州ノ戦況及東方ヨリスル米國ノ
策動等より漸次積極化シ十一月ノ間ニ至リ二十四日ノ間ニ空襲
等ヲ行ヒテ今後大型機ニ依リ当地ニ其長來襲氣配濃厚ナル
ノミナラス又マトロ北部にアタカマニヨリルニ對シ絶えず偵察及之等
對スル補給妨害等ヲ實施シツソアリ

(二) 我軍情況

前述ノ敵企圖に對シ積極的ニ邊害を破リ能率多ク整へ就中
防空施設ヲ増強シ即ち之ノ態勢ヲ整へ

(三) 担務区域中ノ防備強化及兵力部署異動等ノ如シ

三) 作戰指導

- (1) 刀江派遣隊設置(尋礁見張新ヲ含ム)
- (2) 刀江派遣隊設置(準備中)
- (3) 第三十四號掃海艇沿岸着
- (4) 第六十三號掃海艇大之編入(回航中)
- (5) 第十通信隊編入
- (6) 担任区域中ニ於テ艦船被害ノ至ルモノモ、如シ
- (1) 三日 初鷹 磁気機雷ニ觸雷 損傷 於河上流七里
- (2) 十一日 出田丸 磁気機雷ニ觸雷 損傷 於河上流十五里
- (3) 十一日 大湖丸 磁気機雷ニ觸雷 沈没 於河上流十五里
- (4) 十一日 南丸 磁気機雷ニ觸雷 損傷 於河上流七里
- (5) 十三日 第七系丸 磁気機雷ニ觸雷 損傷 於河上流七里
- (6) 十五日 南豊丸 磁気機雷ニ觸雷 沈没 於河上流七里

(1) 哨戒通商保護関係

(1) 一日。三三。七月三日。イマモト岬灯台ノニ五度一五度ヲ発見。浮上潜

水艦掃蕩攻撃ノ為ニ。予艦現場着掃蕩中ニ敵情シ

一日。九。撤哨ス。

(2) 三日。以後Mニ作戦(マカ海敵着掃蕩作戦)ヲ開始。第七艦隊ヲ特設。船着

艇参加ス

(3) 三日。八三。初着身。ピットゲン灯台ノ一八。度三三。米ヲ觸雷

(4) 九日。第六長運丸第七長運丸。船着時四五五ヲクラ。水道南北兩

口掃蕩(音響)磁気ヲ念入ヲ開始ス

(5) 一日。三三。Mニ作戦終了ス

(6) 一日。五三八。本朝。磁気機雷敷設セラレ日南

丸。磁気機雷損傷輕微

(7) 一日。河磁気掃蕩開始ス

0661

(8) 二二日 | 河内川水先船間ノ磁気掃海(航路ニ)終了処分機雷一個

カラン水道南北両口掃海終了処分磁気機雷四個(於南口)

(9) 二四日 | 西岸河内川沖敵機動部隊出現ニ依リ警戒

報告令一七七一解除ス

補給整備訓練関係

(1) 利丸一日至十日、二四日至三日 在昭南補給整備

(2) 第三高子掃海艇 五日至十日 在昭南 修理整備

(3) 第六長連丸第七長連丸 二二日至三十一日 在昭南 補給整備

(4) 第五丸号 駆替特務艇 九日至三十日 在昭南 入渠修理

(5) 第二利丸 三十一日ヨリ 在昭南補給整備

人員ノ現状

第十特別根據地隊

職員官氏名

職	主	務	官	氏	名	記	事
---	---	---	---	---	---	---	---

(四) 麾下艦船部隊

第四十四掃海隊
掃海艇
記番艇
四五號
五〇號
五五號
五九號

三	二	一	日
南	昭	昭	利丸 ニ利丸 夜運丸 美運丸 第三號 第五號 四五號 五〇號 五五號 五九號
昭海 中	昭海 中	昭海 中	昭海 中
南	昭	昭	昭
南	昭	昭	昭
昭海 中	昭海 中	昭海 中	昭海 中
南	昭	昭	昭
昭海 中	昭海 中	昭海 中	昭海 中
南	昭	昭	昭
昭海 中	昭海 中	昭海 中	昭海 中
南	昭	昭	昭
昭海 中	昭海 中	昭海 中	昭海 中
南	昭	昭	昭
昭海 中	昭海 中	昭海 中	昭海 中
南	昭	昭	昭
昭海 中	昭海 中	昭海 中	昭海 中
南	昭	昭	昭
昭海 中	昭海 中	昭海 中	昭海 中
南	昭	昭	昭
昭海 中	昭海 中	昭海 中	昭海 中
南	昭	昭	昭
昭海 中	昭海 中	昭海 中	昭海 中
南	昭	昭	昭
昭海 中	昭海 中	昭海 中	昭海 中
南	昭	昭	昭
昭海 中	昭海 中	昭海 中	昭海 中
南	昭	昭	昭
昭海 中	昭海 中	昭海 中	昭海 中

四参考 記事ナシ

(カ場 = 隊 待 護 上 海) 中 航 回 り ヲ 地 内